

「磁石の不思議な世界～聞いて、さわって、体験しよう～」第13回公開講演会報告

(公社)日本磁気学会 総務委員会

去る2011年10月1日(土)に、(公社)日本磁気学会第13回公開講演会「磁石の不思議な世界～聞いて、さわって、体験しよう～」を新潟県新潟市坂井輪地区公民館において開催しました。今回は日立金属(株)、(財)東京応化科学技術振興財団、(株)高純度科学研究所、(株)日立ハイテクノロジーズのご後援により、新潟市在住の小学生を対象として実施いたしました。近隣小学校より小学生児童37名、父兄ほかあわせ50名超の方が参加されました。

講演会当日は桐野文良総務理事(東京藝術大学)により、「身の回りにある磁石を知ろう」というタイトルで、磁石の原理から始まってハードディスクなど生活の身の回りに存在する磁石の仕組みなどについて、約40分の講演をしていただきました。講演中に盛り込まれた電流を流すことによって磁石なる電磁石を作る実験は子供たちのみならず大人まで釘づけとなったようで、より楽しめる講演会だったのではないかと思います。特に電磁石で方位磁針の向きを回転できる現象を体験していただき"磁石の魅力"に大いに引きつけられながら、講演を楽しむことができたようです。

講演終了後に、子供たちに4つの班に分かれてもらい、「不思議スライムを作ってみよう!」、「磁石をつかったすごい装置～ハードディスク～」、「磁石の中に迷路がある??」、「磁石おもちゃで遊んじゃえ!」の計4コーナーを体験してもらいました。参加者数も多く、大きな会場いっぱい子供たちが興味津々の表情で体験コーナーをめぐるということが印象的でした。日本で発明された世界最強の磁石の凄さ、ハードディスクの中身、モーターと発電機の構造の違い、磁石でできたスライムの作成など、磁石の魅力を存分に実感してもらえたのではないかと思います。閉講式では、講演や体験を通して磁石の不思議さに気づき磁石に詳しくなったということで、「じしやく博士」認定証を一人ずつ子供たちに菊池総務委員より贈呈し、早川総務幹事に挨拶をいただきました。

今回の第13回公開講演会は、9月27日から9月30日まで新潟朱鷺メッセで開催された第35回学術講演会終了後の開催であり、学会事務局にご協力いただき無事に閉会することができたことは、総務委員オーガナイザとして大変うれしい気持ちです。また、平成23年6月から編成された新メンバーでの初めての開催であり、次回の第14回公開講演会に向けて自信がついたことと思います。

最後になりましたが、会場使用の承諾をいただきました新潟市坂井輪地区公民館の皆様、公開講演会の準備でご協力いただいた新潟大学清水英彦准教授と同研究室の皆様ほか、第13回講演会にご協力いただいた全ての皆様・参加していただいた皆様に紙面を借りてお礼申し上げます。今後も長く公開講演会を続けられるよう、引き続き皆様のお引き立てをよろしく申し上げます。

(総務幹事:日立早川純)